

涼を求めて原村ペンション(八ヶ岳)

7/18/2016

北村社会福祉士事務所

代表 北村弘之

蒸し暑い横浜を離れて、涼を求めて長野県の「原村ペンション」で愛犬と妻と過ごしました。この原村は、日本のペンション発祥の地と言われ、ペンションが多くある地域で現在でも 60 軒ほどが営業しているようです。道路の周辺は住民の手によりきれいに草が刈かれ、自然あふれる村でした。場所は長野県諏訪地方、八ヶ岳中央高原に位置し、諏訪南 IC から車で 15 分程です。標高 1300m の地にあるので、夏でもクーラーの必要のない場所です。但し、冬はマイナス 20 度になるようです。

私達がお世話になったのは「内藤ペンション」といい、ご両親が 40 年前にオープンしたもので、現在は娘さんが中心に運営されているようです。お母様の趣味を活かした、「ガーデニング」が敷地いっぱい広がり、私どもの目を楽しませてくれました。(写真は外からみた食堂)



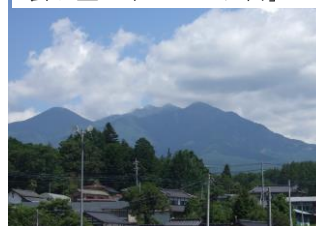
何とも言っても原村のよいところは、村のどこを走っても自然があり、コンビニや食堂など観光地にありがちな派手さがないことです。そのためか中学生が泊まりこみで農業体験をしたり、また八ヶ岳中央実践大学校では、将来の就農を目指して、若い人のみならず定年を終えた方の農業実習も行われていました。この学校では広大な土地に乳牛 150 頭や鳥 10000 羽が飼育されて、畑では様々な野菜作りが行われていました。ここで実習された人は全国に散らばって頑張っているとのことでした。



また、諏訪地方で有名な「御柱祭り」の里曳き出しの1本は、この八ヶ岳中央実践大学校の横の通り(写真左)から始まるということで、通りの名前は「おんばしら通り」と名付けられていました。ちなみに、7年ごとの行事なので次回は 2023 年の春になります。地元で数百年に渡るこの伝統行事を一度見に行きたいものです。

原村での過ごし方にはいろいろとあると思われませんが、ひとつは林の中を歩く里山散歩、山好きな人には八ヶ岳登山、高原に咲くいろいろな花をめぐるのもよいでしょう。また、旬の野菜料理を楽しみたい人には高原野菜、温泉好きな人には「もみの湯」があります。うちの愛犬は、もつばら森林ウォーキングで楽しんでいました。今回は曇り空のため味わうことができませんでしたが、満天の「星空」は見事なようです。このように自然に浸り、日常の生活を離れたスローライフの生活もよいものです。

曇り空の下の「八ヶ岳」



「もみの湯」で見たポスターに『日本で最も美しい村』があり、原村もその一つでした。本当に大切にしたい日本人のふるさとのような原風景でした。

ペンション脇のアジサイ道路

